

あなただけの旅、見つけよう

みちのり

Take
FREE 冬
2025
ご自由にお持ちください

◎連載

ごちそうパレット
(会津若松市)

終点をたずねて
(五峰の湯) 最終回



◎特集1

冬こそ温泉! 温泉宿と冬グルメ堪能

◎特集2 ツウさんぽ

歴史と文化が息づく梅香る水戸へ

日本酒 ハンター が行く!

7 vol.

Kitajima Kazumasa

北島和将

旅雑誌や情報誌のカメラマンとして10年以上活動。取材で訪れた全国各地で3000瓶を超える酒に出会い、いつしか日本酒に魂をささげるよう。2023年に自身の日本酒バー『酒魂』を東京・谷中にオープン。18~23時、月休。

☎050-1808-1023

新酒亡魚介、旬の八戸を味わいに

※「陸奥八仙 ISARIBI 特別純米 生原酒」は2026年1月発売予定。

八戸酒造

南部バス「八戸ラビアバスター・ミナル」から「岬台団地」行き約6分の「小中野」下車、徒歩5分。直売所・蔵見学は10時~16時30分(所要約40分)、土・日休(営業日は公式ウェブサイト・SNSで要確認)。☎0178-20-0443

新酒の季節、収穫したてのお米で造る非加熱でフレッシュな生酒は、この時季ならではのお楽しみ。普段日本酒になじみのない方にも、ぜひ味わつてもらいたい季節です。そこで今回紹介するのが、イカの水揚げ日本一で有名な、青森県八戸市の『八戸酒造』さん。代表銘柄「陸奥八仙」の新酒「ISARIBI 生原酒」は、港町らしく、『漁師さん

実りの秋、新米にこうじ菌を合わせていく製麹(せいき)工程から新酒造りがスタート。蔵人たちが熟練の技で米のうま味を閉じ込めていきます。

その特徴を私の言葉でお伝えすると、『名助演俳優』。魚介類に合わせて味わうことを力刺し、最高です。

「陸奥八仙」とともに「陸奥男山」も有名で、どれを飲んでも間違いない蔵。1775年(安永4)創業の長い歴史に基づく技術の高さと品質で、多くの酒好きをうならせてています。米は全て県産米、県のオリジナル酵母をメインに使

うなど、青森に深く根差して運んでみてくださいね。

ど、海のものに合わせることが多いですが、やっぱり一番はイカですね。シンプルにイカ刺し、最高です。

「陸奥八仙」は、最近では地元農家と協力して造る果実酒や、ビールと日本酒を足して2で割ったような新ジャンルのお酒も醸造。知名度や人気があぐらをかかず、挑戦し続ける素晴らしい酒蔵さんです。

白壁に記された「男山」の文字が勇ましい西蔵は、1919年頃の竣工。貯蔵用の蔵として使われ、断熱性や通気性に優れた置き屋根構造となっています。

- INDEX -

<p>04 特集1 冬こそ温泉! 温泉宿と 冬グルメ堪能</p>	<p>20 特集2 ソウさんぽ 歴史と文化が息づ 梅香る水戸へ</p> <p>27 みちのりのりもの図鑑</p> <p>28 みちのりイチオシ 冬イベント</p>
---	---

紹介物件の名称、営業時間、休み、値段の情報は変更が生じる場合があります。年末年始・大型休については各施設・店舗にお問い合わせください。また、表に記載している金額は税込みです。

伝統の上に 新たなサービスを 乗せて

「みちのり」グループには
100年を超える歴史を持つ会社もあり、
地元密着で皆さまの足となり支えてきました。
でもそれだけではないんです。
新しい路線・車両、無線LANやバス接近情報など、
便利・快適・安全のための革新に日々取り組んでいます。
遠くまで／近くても、出張に／観光に、
一人で／みんなで、これまででも／これからも。
あなたのそばに新しいみちのりが
あるかもしれません。



MICHINORI

- 岩手県北自動車【盛岡】
- 福島交通【福島】
- 会津乗合自動車【会津若松】
- 関東自動車【宇都宮】
- 茨城交通【水戸】
- 湘南モノレール【鎌倉】
- 佐渡汽船【佐渡】

みちのりグループの 高速バスについて 詳細は[こちら](#)



〈福島県福島市〉

摺上亭大鳥

飯坂の恩恵を
存分に満喫できる
上質な温泉リゾートホテル



雪化粧のエントランスの庭園。



会席料理の夕食コース「福島お膳」には地の物が満載。特選福島牛ステーキなどのメニューも追加オーダー可能。



客室(和室10畳)の一例。1泊2食付き2名1室利用
1名1万7600円~3万9050円(平日~土曜・休前
日の料金。料理によって料金は異なる)。

豊かな山林を背景に、自家源泉の露天風呂や心地よい安らぎに満ちた客室でもてなす観光ホテル。ゆったりと広い大浴場はもちろんサウナや水風呂も備え、飯坂の名湯を昼夜問わずに満喫できるのもうれしい。福島牛や会津コシヒカリ、季節の地酒など福島の食の魅力を尽くした夕朝食も、ぜいたくな時間をもたらしてくれる。好みの色柄が選べる「色浴衣」や温泉玉子作り体験など、この宿ならではのサービスも多彩に用意している。

●福島交通飯坂線「飯坂温泉駅」から徒歩20分。

☎024・542・4184

木下内バー



日本酒Bar 香林

福島県内全ての酒蔵の日本酒を取りそろえたバーも人気。好みの銘柄を自由に選べるのはもちろん、スタッフおすすめ3種の飲み比べも楽しい。

福島県内産の鮫川石で造られた開放的な湯船に自家源泉が注がれる「摺上亭 大鳥」自慢の露天風呂。



📍 FUKUSHIMA

飯坂温泉駅前で出迎えてくれる松尾芭蕉の像



奥州三名湯の一つで、日本武尊が発見したという伝説をまとう古湯。1689年(元禄2)に俳聖・松尾芭蕉が弟子の曾良と一緒に訪れ、この地で一夜を過ごしたと伝わっている。摺上川の両岸に温泉旅館が立ち並び、温泉街には「鯖湖湯」をはじめと



飯坂温泉

心洗われるような白銀の雪景色を求めて、体の芯まで温まるいで湯の至福を。情緒ある温泉街を散策したり、ご当地の味覚も楽しんだりしてみては。

冬の温泉！

冬グルメ堪能

右／月ごとに変わる展覧会が開催される本館1階のサロン。下／本館の一つで、アートな調度類を凝らした「松の館」のシングルルーム。1泊2食付き1名1室利用1名2万8600円。



TOCHIGI

板室温泉
神社



那珂川上流の山あり
にあり、平安時代に那
須三郎宗重が狩りのた
めに山の奥へ分け入った
折りに発見したと伝わる。
那須七湯の一つはその効能から
「下野の薬湯」と呼ばれる湯治の
里だ。国民保養温泉地の指定を
受け、湯治場ならではの3つの
治療祈願所がある。温泉の守護
神を祭る「板室温泉神社」はそ
の一つ。

板室温泉

心浦の湯治の里



滞在客の健康も気づかう滋味あふれる夕食。

（栃木県那須塩原市）
大黒屋 板室温泉
清流のせせらぎが
響く温泉郷で
現代アートと温泉に没頭



季節の移ろいを肌で感じられる露天風呂の
冬は、目の前に純白の景観美が広がる。

この冬イチオシ！

無印良品の旅グッズ



立体メッシュ
持ち手付き巾着・M
(1390円)

ほど良く中身が見えて、ほど良く中身を隠せる。大ざっぱに入れられて、風通し良く持ち歩ける。ハリがあるから自立する。温泉旅行にはもちろん、ジムや銭湯での移動にも、かばんの中の仕分けにも。そのうち、気軽にふだん使いにも。

<https://www.muji.com/jp/ja/store/cmdty/detail/4547315931699>



1551年（天文20）創業の老舗らしい外観からは想像もつかない、アートでモダンな感性が随所に映える温泉宿。滞在中、本館1階のサロンや敷地内の「菅木志雄 倉庫美術館」などで、優れた現代美術の数々を目にすると好奇心が引き立てられる。40度前後とややぬるめの源泉掛け流しの湯が満ちた露天風呂に漬かれば、心解きほぐされるような極楽の時間が過ごせるはずだ。



●関東自動車「那須塩原駅西口」から「板室温泉」行き約50分の終点下車、徒歩2分。
☎0287-69-0226



菅木志雄 倉庫美術館

現代美術作家・菅木志雄（すが・きしょ）の作品のみを常時展示している。予約制で、館内や庭で展示されている作品をスタッフのガイド付きで鑑賞できる（入館770円）。

木下
併記



最上階にある総ヒノキ造りの露天風呂。快晴の日は、満天の星が間近に感じられる。



飯坂温泉駅から十綱橋（とつなばし）を渡ってすぐ、温泉街散策に便利なロケーション。かつて小学生の野口英世が武藤校長と共に過ごした宿としても知られる。飯坂温泉で唯一、展望露天風呂を備えており、最上階の露天風呂ではこの上ない爽快感が味わえる。和が基調のしつり趣深い客室は、都会の騒がしさを忘れてのんびり過ごすのにもってこいだ。

●福島交通飯坂線「飯坂温泉駅」から徒歩2分。
☎024-542-3333



愛犬家に大好評だいう
ドッグラン付き和室（12.5畳）。1泊2食付き2名1室
利用1名1万4500円～。

福島県産豚すき
焼きなど自慢の
メニューが並ぶ
夕食の会席料理。



旧堀切邸

江戸時代の豪農・豪商の旧家を、補修・復元・一部新築で整備した飯坂温泉の観光交流拠点。邸内を自由に見学できて、足湯も楽しめる。



●福島交通飯坂線「飯坂温泉駅」から徒歩7分。9~21時、無休（臨時休あり）。☎024-542-8188

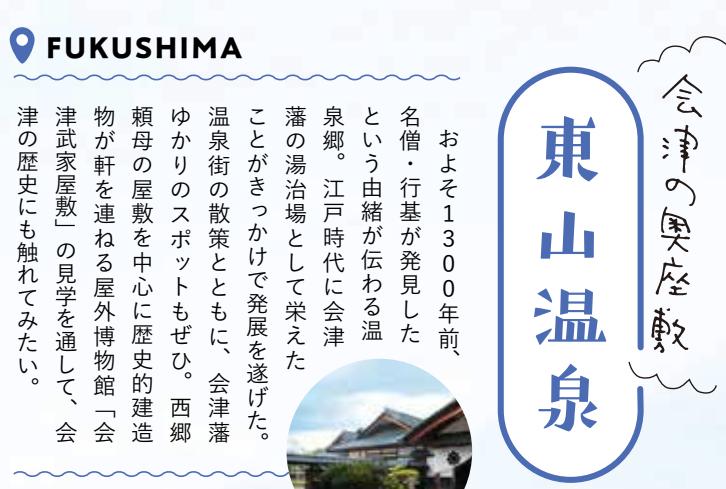
ちょこと
立ち寄り



FUKUSHIMA

長い時を経て洗練された
懐古の宿で過ごすぜいたく時間

竹筒に入れたろうそくの火が
庭園を照らす「雪見ろうそく」。
※宿泊客のみ観覧可能、30cm
以上の積雪がない場合中止。



東山温泉

会津の奥座敷

およそ1300年前、
名僧・行基が発見した
という由緒が伝わる温
泉郷。江戸時代に会津
藩の湯治場として栄えた
ことがきっかけで発展を遂げた。



会津東山温泉 向瀧

幻想的な雪中のともしび
趣深い古建築の宿を照らす

「雪見ろうそく」を室内から楽しめる中庭向きの客室の一室「水仙の間」。1泊2食付き2名1室利用1名3万1000円~3万9800円。



●会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「あかべえ」
約16分の「東山温泉駅」下車、徒歩1分。
☎0242-27-7501

お宿 花かんざし

〈福島県二本松市〉

長い時を経て洗練された
懐古の宿で過ごすぜいたく時間



たっぷりとした湯の花が舞う温泉に満ち、すだれからのぞく庭園美も風情あふれる大浴場。

FUKUSHIMA

安達太良山麓の標高約600mに位置し、今も湯守の文化が残る酸性湯の温泉郷。湯元から約8kmの距離から引き湯をすることでお湯が揉まれて、肌に優しい。風情ある温泉街には、1948年創業の『成駒』などの食事処もあり、冬は湯治客やスキー客などにぎわう。



温泉街の入り口



請戸漁港から直送の
「常磐もの」の魚介などに創意工夫を凝らした献立を用意。



上／露天風呂付きの特別客室
「宵待草」。1泊2食付き2名1室
利用1名4万1250円~。

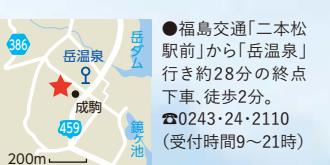


右／特別客室の信楽焼の露天
風呂は大人2人でも十分な大きさ。

岳温泉

高原の癒やしの湯

『成駒』の
あだたら
カレー



●福島交通「二本松駅前」から「岳温泉」
行き約28分の終点下車、徒歩2分。
☎0243-24-2110
(受付時間9~21時)



水織音の宿 山水荘
(福島県福島市)
山峡の絶景を望む展望の宿で
土湯の名湯を存分に堪能

FUKUSHIMA

吾妻山麓の山間にあり、神代の伝説に由緒を持つ古湯の里。大きくカーブを描く荒川に沿つて温泉街が発展し、旅館やホテル、日帰り温泉施設が立ち並ぶ。遠刈田、鳴子と並ぶ三大こけし発祥地の一つとしても知られ、熟練の工人たちが手掛けた土湯こけしを販売している。



土湯こけしの
顔出しパネル

土湯温泉

渓谷の温泉郷

渓谷の景観美を客室や浴室から楽しめて、千坪の日本庭園が風雅な趣を演出する温泉宿。なんといっても、荒川のせせらぎとともに二段の滝の音が響き渡る展望風呂に圧倒される。さらに、館内には4つの貸し切り風呂などもあり、ゆったり温泉ざんまいを満喫できるのがうれしい。2023年に誕生した露天風呂・半露天風呂付きの客室「紫水亭」では、ワンランク上の優雅な滞在が楽しめる。



しっとりした和の心地よさを感じる客室「花鳥苑」。1泊2食付き2名1室利用1名2万2150円～2万9850円。



まさに絶景独り占めの露天風呂・半露天風呂付き客室「紫水亭」。1泊2食付き2名1室利用1名3万5350円～5万4050円。



地場産の新鮮な食材を集めた夕食の会席料理は、調理の水も梅ノ森(とがのもり)の伏流水を使用するというこだわりよう。



●福島交通「福島駅東口」から「土湯温泉」行き約40分の終点下車、徒歩6分。
☎ 024・595・2141
(受付時間9~18時)



郷土の滋味を楽しむ

温泉宿の冬グルメ

効能豊かな温泉はもちろん、ご当地ならではの食材や郷土料理が味わえる温泉宿自慢の食事も滞在の大きな喜びとなる。宿泊客だけが堪能できる旬の味覚をぜひ楽しみたい。

旬の魚介や佐渡産コシヒカリなど、この地ならではの素材に技を凝らした献立が味わえる会席料理。

NIIGATA
HOTEL AZUMA

〈新潟県佐渡市〉

老舗料亭の誇りでもてなす
海辺の温泉リゾートホテル

佐渡市西部の二見半島にある七浦海岸に臨む夕映えの宿で、客室や大浴場の露天風呂などから、雄大な海の眺望を楽しむことができる。前身は大正時代創業の「料亭阿づ満」で、その伝統はこの宿で提供される食のもてなしに息付いている。佐渡沖で取れる新鮮な魚介をはじめ地場産の米や野菜などにこだわり、心華やぐ彩りを大切にした会席料理が、宿泊客の満足を満たしている。



相川長手岬（ながてみさき）温泉のいで湯が満喫できるホテル2階の絶景の露天大浴場。



露天風呂付きオーシャンテラスの客室。1泊2食付き2名1室利用1名4万8320円～。



ホテルの海側には約7千坪の日本庭園が広がる。佐渡ブルーの空と海は格別だ。



●両津港・小木港から車で約1時間。
☎0259-74-0001

もっと冬グリメ

古民家空間 京町亭
「京町亭のカレー」1500円



●両津港から車で約45分、小木港から車で約1時間。11時30分～14時LO（夜は3日前までの予約制）、火・水休（祝日の場合営業）。☎0259-67-7538



イワナや山菜、キノコ、自家栽培の野菜など、町場では貴重な食材をふんだんに使った宿泊料理の一例。

鍋料理は2種類から1つ選ぶ。上／岩魚の山賊鍋、下／短角牛の陶板焼き。



オプションメニュー
一も用意しており、「岩魚の骨酒」と「岩魚の刺し身」どちらもオーダーしたい逸品だ(要予約)。



●岩手県北バス「盛岡駅前(東口3番のりば)」から「松川温泉」行き約1時間42分の「松川荘口」下車、徒歩7分。☎0195-78-2255



上／白濁した湯で満たされた男女混浴の露天風呂。左／部屋トイレ、パウダールーム付きで広々とした一般客室。1泊2食付き2名1室利用1名1万8000円。

IWATE 松川温泉 松川荘

〈岩手県八幡平市〉

大自然の息吹を肌で感じながら
山の恵みを享受する味覚の喜びを

十和田八幡平国立公園内にあり、山伏が発見したという秘境の温泉郷。1960年開業の『松川荘』は、山岳レジャーや八幡平アス庇ーテラインのドライブを楽しむ観光客に愛された宿で、2つの源泉からもたらされる温泉と、山の恵みを存分に味わえる食のもてなしが人気の理由。イワナや季節の山菜など、野趣に富んだごちそうの数々をじっくり堪能してほしい。



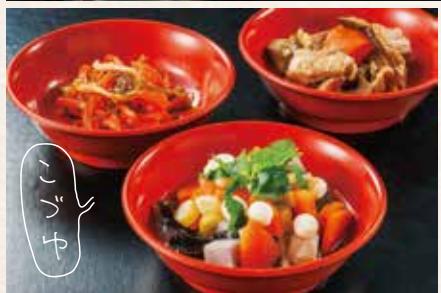
雪化粧した冬の渓谷。

FUKUSHIMA 芦ノ牧温泉 丸峰観光ホテル

〈福島県会津若松市〉

溪流の絶景に恵まれた温泉宿で
会津伝統の味わいに舌鼓

阿賀川の渓谷沿いにあり、露天風呂や大浴場の窓から眺める壮大な自然のパノラマが見事。もちろん客室からも美しい景観を望むことができ、優雅な滞在を楽しめる。夕食は、会津伝統の味覚を用意。2024年にニューオープンしたビュッフェレストランでは、できたての天ぷらやステーキを提供するライブキッチンが好評。個室食事処もあり、山海の幸を尽くした会席膳も堪能したい。



写真上／会津地方の食文化を体感できる「料理長特別会席」。左下／具だくさんのお吸い物「こづゆ」など郷土ならではの味わいも見逃せない。右下／からし味噌で食べるが特徴の「会津馬刺し」。



●会津バス「若松駅前バスターミナル」から「芦ノ牧(大川発電所前)」行き約47分の「芦ノ牧丸峰前」下車、徒歩1分。☎0242-92-2121(受付時間10~19時)



上／ヒノキの露天風呂が利用できる客室。1泊2食付き2名1室利用1名2万7500円～。左／鳥のさえずりや木々の葉ずれの音が優しく心を癒やしてくれる露天風呂。



大内宿「しんごろう」1本250円

かやぶき屋根の民家が並ぶ「大内宿」へ足を延ばして、『みなどや』で販売している南会津の名物「しんごろう」を。半つきのご飯を串に刺し、じゅうねん味噌(エゴマ味噌)を塗って焼いた郷土料理で、素朴な味わいがたまらない。

●会津鉄道会津線湯上温泉駅から車で約15分。☎0241-68-3611(大内宿観光案内所)



牛乳屋食堂 「ミルクみそラーメン」1150円

上三寄駅(現・芦ノ牧温泉駅)の開通を機に、駅前で牛乳を販売したのが始まり。一番人気の「ミルクみそラーメン」は牛乳と味噌の相性が抜群で、よりまろやかなコクを楽しめる。

●会津バス「若松駅前バスターミナル」から「芦ノ牧(大川発電所前)」行き約35分の「芦ノ牧温泉入口」下車、徒歩1分。11時~14時45分・17時~19時45分、火曜の夜・水休。☎0242-92-2512

もっと冬グリル

冬こそ行きたい 温泉宿

冬のレジャーで冷えた体を温泉でほんわか温めよう。



⑦朱鷺伝説と露天風呂の宿 きらく

加茂湖畔に立つ眺望の宿。加茂湖、大佐渡山脈を一望できる「朱鷺の舞湯」で、見事な眺めを楽しめる。佐渡近海の海の幸を使った夕食を味わうことができ、冬はペニズワイガニが人気。●両津港から車で約5分、小木港から車で約1時間。1泊2食付き2名1室利用1名1万2800円~。☎0259-27-6101



⑧あかどまり城が浜温泉 サンライズ城が浜

城が浜海岸のビーチがすぐ目の前に広がる温泉宿で、海に面した客室がおすすめ。疲労回復が期待できる温泉が、ツーリング客などに好評。●小木港から車で約20分、両津港から車で約1時間。1泊2食付き2名1室利用1名1万1200円~。☎0259-87-3215



⑤いそざき温泉 ホテルニュー白亜紀

〈茨城県ひたちなか市〉

県指定天然記念物の中生代白亜紀層にちなんだ温泉ホテル。「白亜紀の温泉」の露天風呂では、太平洋の海原を一望できる。●ひたちなか海浜鉄道那珂湊駅からスマイルあおぞらバス「那珂湊コース」約17分の「柴田屋・ホテルニュー白亜紀入口」下車、徒步9分(1日4便のみ運行)。1泊2食付き2名1室利用1名1万4520円~。☎029-265-7185

⑥益子館 里山リゾートホテル



益子の里山でのんびりと過ごせる温泉リゾートホテル。益子焼の浴槽や寝湯枕など、陶芸の町ならではのフレーバーがあちこちに凝らされている。●関東自動車「宇都宮駅西口」から「益子駅」行き約1時間14分の終点下車、車で約5分。1泊2食付き2名1室利用1名1万5423円~。☎0285-72-7777

①



①アゾベの森 いわき荘

〈青森県弘前市〉

ナラ自然林の中にある見晴らし抜群の温泉宿。熱の湯と呼ばれる百沢温泉の湯を、青森ヒバの大浴場で楽しめる。岩木山麓の山の幸をふんだんに使った「津軽かかやま料理」の夕食が絶品。●弘前駅から車で約30分。1泊2食付き2名1室利用1名1万3200円~。☎0172-83-2215(受付時間9~20時)



②盛岡つなぎ温泉 四季亭

〈岩手県盛岡市〉

純和風の数寄屋造りの宿で、平安時代末期から続く盛岡つなぎ温泉のいで湯を満喫できる。露天風呂付き客室もあり、優雅な滞在が楽しめると好評。岩手県産の食材にこだわった夕朝食も彩り華やか。●盛岡駅から車で約25分。1泊2食付き2名1室利用1名3万6300円~。☎019-689-2021

③



③那須温泉 山楽

〈栃木県那須町〉

大正12年創業で、昭和天皇も来館したことのある老舗の名宿。自家源泉の湯を、約30畳の大露天風呂で満喫できる。●関東自動車「那須塩原駅西口」から「那須湯本温泉」または「大丸温泉」行き約39分の「新那須」下車、徒步2分。1泊2食付き2名1室利用1名2万8000円~。☎0287-76-3010

④横川温泉 元湯 山田屋旅館



気鋭の地元建築家が手掛けた和モダンの宿。県内トップクラスのアルカリ度を誇る天然温泉は美肌効果に期待ができる。●茨城交通「常陸太田駅」から「小中」または「里川入り口」行き約45分の「折橋十文字」下車、徒步26分。1泊2食付き2名1室利用1名1万6100円~。☎0294-82-2236



弘道館の内部は、
今も藩士たちの
息遣いが聞こえそうなほど、
凜とした空気が
保たれている



梅尽くしの銘菓を
味わいながら、
偕楽園の梅に込められた
斉昭の願いに
思いを馳せる



観梅季を迎えた
偕楽園は、水戸の
梅文化を象徴する
圧巻の景観だ



梅香る水戸へ

歴史と文化が息づく



ユニークな
デザインを施した
多彩な提灯に、
古風なイメージを
覆される



全面をガラスで
覆われた好文cafeは、
暖かな日差しが
心地よい



伝統工芸士が
手掛ける水府提灯。
手描きする梅花が
美しい

水戸藩主・徳川斉昭が創設した
偕楽園では、冬の終わりから春先にかけて
約100品種3000本の
梅が見頃を迎える。
斉昭は梅を愛し、学問を好めば花開くという
故事から「好文木」と呼び、
水戸に梅の文化を根付かせた。
梅モチーフの提灯が灯す温かな光や、
梅を使った菓子の優しい味わいを、
堪能しながら、
歴史と文化が織り成す水戸の魅力に
触れる旅に出掛けよう。

MITO

乗るだけでも
面白い!

みちのり のりもの図鑑

ERGA EV・関東自動車

Vehicle
picture book
FILE.08



①最後部座席までフルフラットフロア。②EV固有の情報も分かりやすく伝えるメーターパネル。③車内にも、英文併記で「この車両は、栃木県宇都宮市でつくられました。」と掲示。④関東自動車路線バス部の福島崇文さん。



初導入となる中国製の電気バスを披露し、その先進的な性能と経済性、運転時の静音性などに注目が集まつた。そして今年、いすゞ自動車社製車両の導入も決まり、11月18日にお披露目式が行われた。会場には電気バスの実車が展示公開され、日本の路線バスに最適化した

指している。24年1月には、先であるみちのりホールディングスは、東京電力ホールディングスと連携して電気バス向けエネルギー・マネジメントシステム（バスEMS）の開発に2022年度から取り組んできた。その導入デイングス傘下の3社で実用化に向けた検証が続けれ、その中で関東自動車が先陣を切って大規模な電気バスの導入を決定。29年度までに、大型バスの7割に当たる158台の導入を目指している。

スマートモビリティーの 未来が宇都宮から発進

今回導入されたいすぐ自動車社製の「エルガEV」は、モーター走行による走行中の二酸化炭素排出ゼロ。左右後輪の内側に独立したモーターを設置し、バッテリーやEV機器の配置を最

エコな新型電気バスで 快適な乗り心地の旅を

モーターを設置し、バッテリーを設置し、バッテリー走行による走行中の二酸化炭素排出ゼロ。



「宇都宮駅西口」から「大谷・立岩」行き約30分の「資料館入口」下車、徒歩5分。巨大空間が広がる地下の採掘場跡が目玉。

は、モーター走行による走行中の二酸化炭素排出ゼロ。巨大空間が広がる地下の採掘場跡が目玉。



水戸乃梅ふくゆい みともち
180円は、日本茶検定を持つ3代目が厳選した日本茶とともに味わいたい。



立ち寄られた際には、和菓子と日本茶をゆっくり味わってくださいね

水戸産の梅「ふくゆい」を使った梅大福やかりんとう饅頭が人気の和菓子店。初代は早くからいちご大福を販売し、2代目はショークリームの中に大福が入った「シューあら大福」を手掛けるなど、ユニークな商品も多い。本店から徒歩1分のところにある「菓匠にいつま hanare」では、3代目が和菓子と日本茶とのペアリングを提案してくれる。注文を受けてから焼き上げるどら焼きも人気が高い。

●茨城交通「水戸駅（北口）」から「赤塚駅北口」行き約24分の「堀町団地」下車、徒歩1分。8時～18時30分。☎029-251-8772



上／JR水戸駅に直結する駅ビル内にある店舗。観梅の帰りに立ち寄る客も多い。下／みやびの梅270円も40年以上愛される代表銘菓。季節や毎日の気候を加味しながら、職人が技術と知恵を駆使して作っている。



甘さの中に赤じそと梅酢の芳醇な香りが広がる深い味わいは、濃いお茶と合わせて楽しめたい。



史を有する老舗が誇る看板商品「水戸の梅」は、水戸土産の定番中の定番だ。偕楽園や弘道館を散策し、提灯店では職人の技に触れ、梅菓子を味わい尽くした一日。徳川斉昭が愛した梅を巡る旅は、この時期の水戸だからこそ貴重な体験になった。





かつての産業施設がよみがえる

●2026年1月5日まで
**北沢浮遊選鉱場
ライトアップ**

【新潟県佐渡市・北沢浮遊選鉱場】

佐渡鉱山で採掘された鉱石から金銀を取り出すために建設された北沢浮遊選鉱場。東洋一の規模ともいわれた巨大なコンクリート構造が色彩豊かなLED照明によって照らされ、日中とは異なる雰囲気を楽しめる。17～22時。
☎ 0259-67-7602 (佐渡市観光振興課)

【アクセス】佐渡汽船「両津港」から車で約50分



宇都宮の中心市街地を華やかに演出！

●2026年1月18日まで
うつのみやイルミネーション2025

【栃木県宇都宮市・釜川、オリオンスクエアほか】

釜川やオリオンスクエア、中心商店街などの中心市街地が約26万球のLEDによる華やかな輝きに包まれる。釜川沿いは樹木イルミネーションで彩られ、川面に揺らめく光も幻想的。夜の散策を楽しもう。17～22時。
☎ 028-632-8215 (宇都宮まちづくり推進機構)

【アクセス】関東自動車「宇都宮駅」から「細谷車庫」行き約4分の「県庁前」下車すぐ



大俵を引いて米の相場を占う

●2026年1月14日
坂下初市～奇祭大俵引き～

【福島県会津坂下町・会津坂下町役場前メインストリート】

江戸時代から約400年続く、豊作を祈る正月行事。町役場を中心に上町(東)と下町(西)に分かれて重さ5トンの大俵を勇ましく引き合う。上町が勝てばその年の米の値段が上がり、下町が勝てば豊作になると云われている。
☎ 0242-83-2111 (会津坂下町観光物産協会)

【アクセス】会津坂下駅から徒歩5分



山道を登って大わらじを奉納

●2026年2月21・22日
信夫三山暁まいり

【福島県福島市・羽黒神社、市内各所】

21日には長さ12m、幅1.4mの日本一大わらじを約100人で担ぎ上げ、市内中心部を練り歩いた後、信夫山に鎮座する羽黒神社に奉納する。その昔、神社に安置されていた仁王様の足の大きさに合う大わらじを作って奉納したことが由来。
☎ 024-525-3720 (福島市にぎわい商業課)

【アクセス】福島交通「福島駅東口」から「福島市内循環1コース、2コース」約10分の「福島テレビ」下車、徒歩10分



巨大な雪のすべり台に興奮！

●2026年2月14・15日
第48回青森冬まつり

【青森県青森市・青い海公園（アスパム裏）】

陸上自衛隊青森駐屯地が製作する雪の大型すべり台が子どもたちに人気のイベント。そのほかにもグルメを味わえる出店コーナーや棒パンコーナー、ステージイベントなど、家族で楽しめる催しが盛りだくさん！ 9～15時。
☎ 017-723-7211 (青森観光コンベンション協会)

【アクセス】青森駅から徒歩8分



豊年満作を祈る八戸の伝統芸能

●2026年2月17～20日
八戸えんぶり

【青森県八戸市・長者山新羅神社、八戸市街地、市庁本館前市民広場ほか】

馬の頭をかたどった鳥帽子をかぶった「太夫」と呼ばれる舞い手が、頭を大きく振りながら独特の舞（摺り）を繰り広げる。摺りの合間に子どもたちによる愛らしい祝福芸も。八戸地方に春を呼び、その年の豊作を祈願する伝統行事。

☎ 0178-70-1110 (VISITはちのへ)

【アクセス】JR八戸線本八戸駅から徒歩10分（市庁本館前市民広場）



自然と光が織り成す神秘の美しさ

●2026年1月12日まで
2025大子来人～ダイゴライト～

【茨城県大子町・袋田の滝周辺】

日本三名瀑の一つ、高さ120m、幅73mを誇る袋田の滝をライトアップ。光のトンネルをくぐり抜けると雄大な滝が闇夜に浮かび上がり、まるで水墨画を見ているかのよう。日没～19時。入場料大人500円、子ども300円。
☎ 0295-72-0285 (大子町観光協会)

【アクセス】茨城交通「袋田駅前」から「滝本」行き約7分の終点下車、徒歩10分。または袋田駅から車で約10分



宮古の冬の味覚に舌鼓！

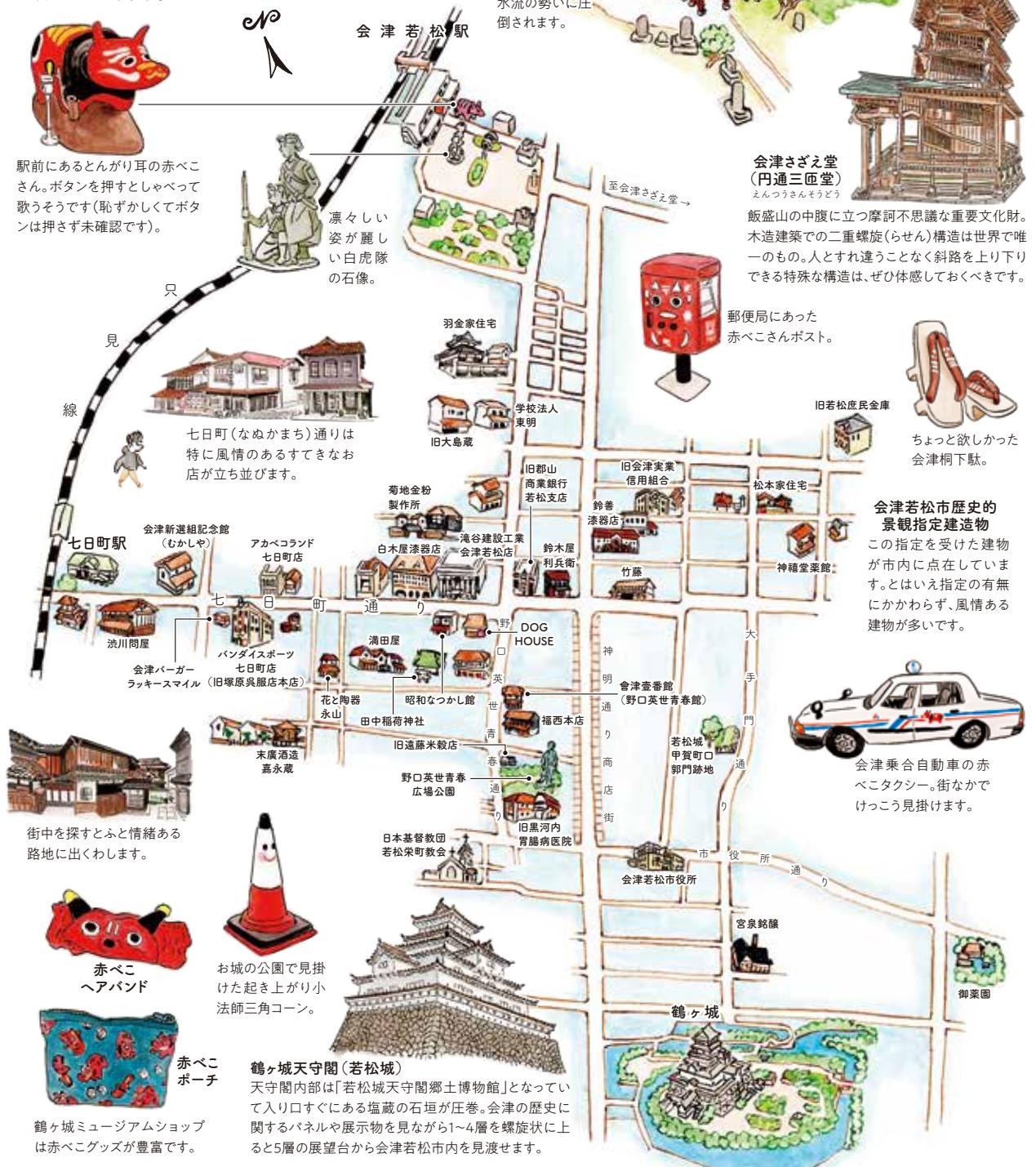
●2026年3月上旬（予定）
宮古毛ガニまつり

【岩手県宮古市・宮古市魚市場特設会場】

全国でも有数の毛ガニの水揚げ港として知られる宮古港。三陸産の毛ガニや特産品の販売、グルメ屋台、豪華賞品が当たる抽選会などを実施予定。詳細は宮古観光文化交流協会ホームページを確認。https://kankou385.jp/
☎ 0193-62-3534 (宮古観光文化交流協会)

会津若松遊覧マップ

七日町通りを中心に、レトロな古民家を改装したおしゃれな内装の雑貨店、物産店、民芸店、洋品店などが立ち並び、魅力的なお土産品の種類が豊富。またさまざまな施設に各種体験コーナーがあり、何かチョイスしてぜひ楽しみたい。明治モダン、大正ロマン、昭和レトロと三拍子そろった風情ある街並みは、どこかしらpopの明るさがあります。



メーカーズマーク
漬け込みハイボール
880円

今回いただいたのは
「甘栗」。季節ごとに
漬け込む素材は変わ
り、何が出るかはお樂
しみのこと。



フルーツパフェ
495円

自家製ソフトクリーム
でフルーツはフローズ
ン。時間帯問わず、そ
して通年あります。



Gochisou Palette

No.28 会津若松市【福島県】

吉田いつし =取材・文・イラスト

レトロな街はスーパーニア天国

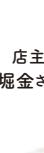
最近は赤べこさんが活躍中

「DOG HOUSE」

自家製
ビーフジャーキー
990円



店主
堀金さん



まぐろとアボカドの
ピリ辛カルパッチョ
935円



料理自慢で人気のパブレストラン。おすすめの
「まぐろとアボカドのピリ辛カルパッチョ」はほど
よい辛さで、ごま油と玄米フレークのサクサク
がアクセント。珍しい「自家製ビーフジャーキー」は部位に種類があり、さまざまな風味が
楽しめます。お酒では「メーカーズマーク漬け
込みハイボール」が楽しい。そして深夜に食べ
る「フルーツパフェ」はお酒のシメに最適です。



赤い幕に「ロック酒
場」とあるように、不
定期でライブを開催。
会津バス「若松駅前」から
まちなか周遊バス「ハイカラ
さん」約4分の「七日町白木
屋前」下車、徒歩1分。11~
14時・17~翌1時(土・日ラ
ンチ営業なし)、火休。
☎0242-27-5858

「会津バーガー ラッキースマイル」

人気のハンバーガーショップ。おすすめは「会津美人(べっぴん)バーガー」。粗びきのパティは厳選されたUSカオリージー牛。赤身中心で店独自の配合でひいた肉は、歯応えがあり風味が濃い。アボカド、3種のチーズ、たっぷりの野菜、そしてガーリックチップがアクセント。本格派のハンバーガーです。ボリュームがあるが、意外にサクッと食べられます。



いかにきれいに
食べるかが一つ
のチャレンジ。

メロン
ソーダ
250円

会津美人バーガー

1000円

他にも会津にちなんだ名前のバー
ガーガーがいろいろ。ランチセット(+300
円)はソフトドリンク&スープ付き。

店主
皆川さん

「渋川問屋」

明治創業の海産物問屋から続く歴史ある会津郷土料理店。色とりどりのコースは身欠きにしんや棒たらなど、会津らしい干物をメインの素材にしつつも、みずみずしくて風味豊か。さらに会津牛や季節の果物など。心のこもった穏やかな料理たちとともに、歴史に思いをはせましょう。



会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約10分の「阿弥陀寺東」下車すぐ。11時~14時30分LO~17~19時LO、無休。☎0242-28-4000



会津若松駅までは会津バスの高速バスの利用が便利。
会津合乗自動車☎0242-22-5555



祭り御膳(亀)

3800円

季節ごとに内容が
変わります。

にしんの天ぷら

にしんの昆布巻

こづゆ

にしんの山椒漬

そば粒がゆ

棒たら煮

会津牛

紅鮭寿司

季節の混ぜごはん(まいたけ)

水菓子(梨)

女将
渋川さん



会津新選組記念館 (むかしや)

1階が新選組グッズなどを中心にした雑貨店。2階が展示室で、スペンサー七連発騎兵銃やスナイドル銃、やりなどの武器や軍服などの軍装品、月岡芳年などの錦絵版画などが展示され、コンパクトながら充実している。1階はグッズ以外にも幕末出来事相関図や郷土資料集など興味深い書籍も販売しています。

会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約5分の「七日町中央」下車、徒歩1分。10~17時、不定休。
☎0242-22-3049



新島八重も使っ
たスペンサー七
連発騎兵銃。

アカベコランド 七日町店

赤べこの絵付け体験ができる施設で、お隣は赤べことグッズの販売店。ソファや畳に座ってゆったりと絵付け体験ができます。作業手順の説明シートを見て描いても、またオリジナルの模様を描いても良し。時を忘れて没頭してしまいます。ショップでは、酪王牛乳ベコやJR東日本とコラボした新幹線ベコなどユニークなベコも。

会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約5分の「七日町中央」下車、徒歩1分。10~17時、無休。
☎0242-23-9190



酪王牛乳
ベコ

新幹線ベコ

絵付けセット



施設 & スポット

「バンダイスポーツ七日町店」

レトロな建物が印象的な、野球専門のスポーツ用品店。グローブの型付けで知られているそう。入り口すぐ左手に工房があり、グラブプレッサーや革用の刺しゅう機、革用ミシンなどが置かれ、ここでグローブの型付け作業を中心に、刺しゅう、スパイクの補強などが行われています。型付けは日本全国からプロアマ問わず依頼があるそう。1926年に建てられた塙原呉服店の外観をそのまま残しつつ、側面の「野球工房」の看板がすがすがしい。



手でもみ込
んだり。



会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約5分の「七日町中央」下車すぐ。11~19時、日休。
☎0242-27-8118

会津武家屋敷

会津藩家老「西郷頼母邸」を復元した家老屋敷を中心に旧中畠陣屋や各種資料館からなる大規模な施設。当時の様子が人形などで再現され、さまざまな調度品の展示では人々の暮らしぶりが感じられます。また各種体験スペースもあります。



会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「あかべえ」約13~20分の「会津武家屋敷前」下車すぐ。9時~16時30分、無休。
☎0242-28-2525

立体的な刺しゅう
が施された打掛け。



新島八重も使っ
たスペンサー七
連発騎兵銃。

昭和なつかし館

1階がアンティークショップ。2階に昭和の居間と路地裏を再現。昭和時代の看板や自転車、冷蔵庫、電気釜などの家電製品や生活雑貨などが所狭しと展示され、昭和レトロが横溢する空間です。



会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約4分の「七日町白木屋前」下車、徒歩1分。10~18時、不定休。
☎0242-27-0092

恋する当地民芸

南部鉄器

【岩手県盛岡市/釜定】



上／初代から受け継ぎ、実型(さねがた)と呼ばれる鋳型の土台が積まれている工房内。創業以来、土間の砂を繰り返して鋳型づくり使用してきたという。右／鉄瓶の持ち手などの各パーツは、形状や寸法が記された詳細な図面を基に製作される。



鉄ならではの重みや光沢、金気の匂いまで
長く愛し続けることができる鉄器づくりを

真剣なまなざしで、鋳型の内側に「霞」模様を打つ長男の昌太朗さん。炉で溶解した鉄を流し込み、型から取り出したあとで模様の出来が気に入らないと廃棄することもあるという。ちなみに、名前は2代目と読みが一緒だが一字違い。



これも遊び心が映える铸物のペンダント。
埴輪や魚、おろし金など意外性のあるデザインが並ぶ。



多彩なふたの形状が見た目に楽しい灰皿。小物入れや花器といった、本来の使い道以外にも想像がき立てられる。

伝統の技が息づく各地の手工芸品の中でも、心ときめく魅力に満ちた逸品をご紹介。
今回は、盛岡市の伝統的工芸品「南部鉄器」。その重厚感が、歴史の重みを感じさせる。

オーナメント
左／鳥(a) 右／かわせみ
各7000円

彫塑が得意で、数々の受賞歴を誇る2代目・昌太郎氏がデザインした南部鉄器の置き物。暮らしの中にアートピース(芸術作品)を象徴的に用いる欧米の習慣から発想を得たアイテム。鳥のほか、馬や魚など多彩なモチーフで制作している。



●岩手県北バス「盛岡駅前(東口6番のりば)」から「盛岡バスセンター」歩行約15分の終点下車、徒歩4分。9時~17時30分、日休。
☎019-622-3911

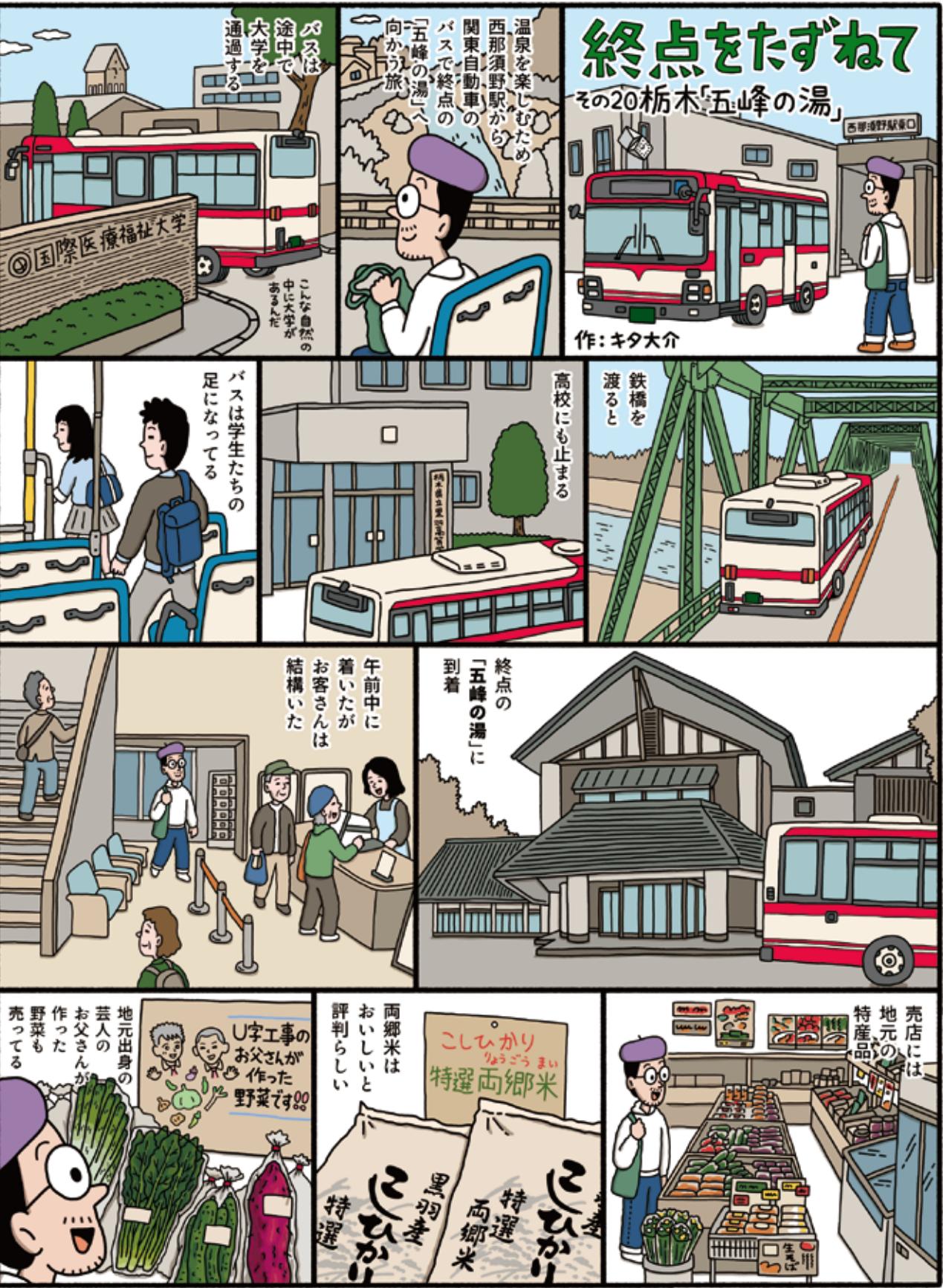
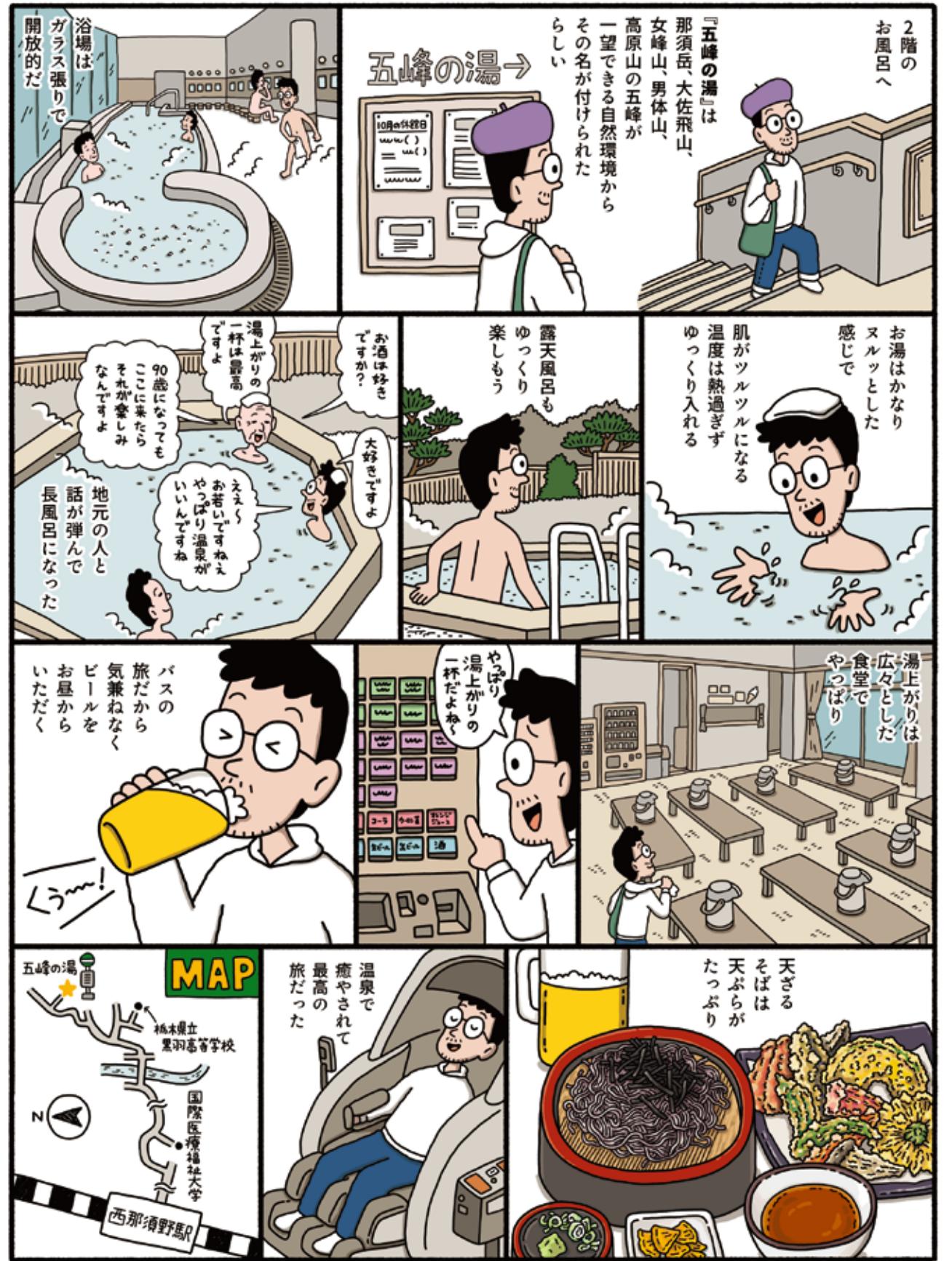
近年、海外からも熱い視線が注がれている南部鉄器。造形の美を追求した先代に敬意を抱きながら、「さらに先の世代へと続く仕事がしたい」と目を輝かせる宮さん。現代のキッチンに寄り添う羽釜や洋室にマッチする燭台など、鉄の本質的な美しさを生かした鉄器作りに創作意欲を燃やしている。

南部藩主の保護下で育まれた盛岡の南部鉄器。サビ止めの熱処理技法や鉄瓶の表面を覆う「霞」と呼ばれる模様などが、長い時を経て培われてきた技術の発展を物語っている。

細屋町に店舗と工房を構える「釜定」。

1908年に「宮鉄瓶店」として創業し、現在は宮伸穂さんが3代目を継ぐ。

16歳で父・昌太郎氏が早世したのを機にこの道を志し、恩人の勧めで金沢美術工芸大学に進学。さらにフィンランドへ渡り、シンプルながら愛着が湧く北欧デザインに感銘を受けたことがその後の指針を決めた。「家業の鉄器をいかに今の人につつてもらえるか」を考え、息の長いプロダクトの理想を目指した。



福島交通・会津バス

福島交通と会津バスの経営統合のお知らせ

両社ブランド・車両デザインは継続します

みちのりグループの福島交通株式会社および会津乗合自動車株式会社は令和8年4月1日をもって合併いたします。1社になることで、福島県内広域で利便性の高い交通ネットワークを展開するとともに、新しいサービスの開発や投資をより積極的に行っていく所存です。

地域ブランドの維持について

「福島交通」「会津バス」「あいづタクシー」の名称および車体デザイン・カラーリングは地域の皆様に長年、親しみを持って接していただいておりますので合併後もこれらの名称・デザインで運行いたします。

ICカードの取り扱い

福島交通の「NORUCA」、会津乗合の「AIZU NORUCA」は、引き続きご利用いただけます(両カードの共通利用も引き続き可能です)。



福島交通



会津バス

読者
PRESENT

P36・37でご紹介した商品をプレゼント!
編集部セレクトの商品に応募してみませんか?



オーナメント 鳥(a)・かわせみ 各1名さま

盛岡市にある『釜定』で販売されている「オーナメント 鳥(a)・かわせみ」。詳細はP36・37をチェック!

応募要項

応募締切:2026年2月28日(土)

ハガキに 1 お名前(ふりがな) 2 年齢 3 性別

4 郵便番号とご住所 5 電話番号 6 プレゼント名

7 右のアンケートの回答を明記の上、郵送してください。

送り先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-11-7F

(株)交通新聞社 コミュニケーションデザイン事業部

「みちのり2025年冬号」係



スマートフォン、タブレットからの
応募はこちらから

アンケート

みちのり2025年冬号について

A 一番面白かった記事、コーナーは?

B みちのりエリアで、おすすめの歴史スポットを教えてください。
また、アンケートの内容は冊子制作の参考にさせていただきます。

今回の高速バス・船のご利用について

C 利用路線 D 利用用途 E 同行者数

F みちのりグループの高速バス・船利用頻度

G 高速バス・船を使用する際に見る情報源は

H 車内のフリーWi-Fiについて

I 導入してほしいサービスや、新しい路線など

J ご意見やご要望

アンケートにお答えいただいた方全員に
「ダイヤリング スマホハンドストラップ」をプレゼント!

※ブルー、ブラウン、グレー、ペーパーブルの4色ございます。

色はお選びいただけません。



